

一 aとdのカタカナを漢字に直して書け。

(真島めいり「みつきの雪」による。)

二 にあてはまる最も適当な言葉を、次の1～4から一つ選んで、番号を書け。

- 1 じいと 2 ぽかんと 3 きいと 4 ばたと

三 ①に 顔を向けている先にあるのは、だだっ広い田んぼだった とあるが、行人は何をしていたと考えられるか。十字以上十五字以内で書け。

四 ②に 青い長ぐつが、白い地面にすっぽりうもれてしまうすんでのところ とあるが、どのような状況か。「く状況」に続く形で、十五字以上二十字以内で書け。

五 ③に さっきまでとは違う理由であせりながら とあるが、なぜ、わたしはあせったのか。三十字以上三十五字以内で書け。

六 ④の 生活態度にもくなかつた を言いかえている表現を、本文中から書きぬけ。

七 ⑤に ずっと張りつめていた身の回りの空気がふいにゆるみだして とあるが、わたしは、どんな気持ちか。次の1～4から最も適当なものを一つ選んで、番号を書け。

- 1 深い雪に閉ざされた山村に待ちに待った春の訪れを感じ、心はずんではいる
2 近づきにくかった行人の意外な一面を見て心がなごみ、親しみがわいている
3 行人の異変を察知した上に命の危険から救ったので、得意満面になっている
4 都会から来た行人と気が合わなかったのに、彼の本音を知って安心してはいる

問二 次の文章を読んで、あとの1～7の問いに答えなさい。

一 aとdの漢字のよみがなを書け。

二 本文中の□にあてはまる言葉はどれか。次の1～4から最も適当なものを一つ選び、番号を書け。

- 1 そこで 2 ただし 3 なぜなら 4 つまり

三 ①に 以前と比べ確実に異なっている とあるが、何が異なっているのか。「くこと」に続く形で、本文中から二十九字で探して、初めと終わりの三字を書きぬけ。ただし、句読点や記号も一字に数える。

四 ②に 私たちはいますスマホに「飼いや慣らされて」います とあるが、その姿としてあてはまらないものを、次の1～4から一つ選び、番号を書け。

- 1 終日スマホのあらゆる質と量の情報を受け取る姿
2 スマホの中の玉石混交の情報に冷静に向き合う姿
3 退屈をまぎらわせるためにスマホを使っている姿
4 スマホからあふれ出る情報に振り回されている姿

五 ③の 情報への「耐性」を考え、自分なりに身につけていく ために必要なことは何か。「情報」「自分」という二語を用いて、三十五字以上四十五字以内で書け。

六 この文章の書き方の特徴として最も適当なものを次の1～4から一つ選び、番号を書け。

- 1 二つの異なる事例を比べながら、違いが生まれる原因は何か説明している
2 初めに問題提起して、自分の体験をもとに導き出した考えを説明している
3 現状から感じた疑問を投げかけ、それに対する筆者の考えを説明している
4 原因と結果の関係をていねいに解説した上で、自分の考えを説明している

七 この文章は「スマホに依存している日常」について書かれたものであるが、日常生活でスマホ以外に、あなたが依存していると感じたことは何か。依存していると感じた体験とそれに対する自分の考えを、次の注意に従って百五十字以上二百字以内で書け。

注意 1 体験と自分の考えがわかるようにくわしく書くこと

2 作文の題名は書かず、本文から書き始めること

3 原稿用紙の正しい使い方に従って書くこと